

# いよいよスタート

つくる・あそぶ・はなす・観る 大阪の魅力を体感する

水都大阪2009  
2009年8月22日～10月12日開催

## メインプログラム「水辺の文化座」

### 市民参加・100のアートプログラム

「川と生きる都市・大阪」をテーマにした「水都大阪2009」が、いよいよスタートします。中之島公園・八軒家浜と水の回廊（大川、土佐堀川、堂島川、木津川、道頓堀川）で囲まれた市内各所で、アートを体験したり、船着場や水辺のマーケットを楽しむなど、多彩なプログラムが予定されています。

主会場となる「水辺の文化座（中之島公園東部）」では、「つくる」「あそぶ」「はなす・観る」の3つのゾーンで構成。大小7棟の仮設小屋や竹の巨大オブジェに覆われた広場を舞台に、全国から集まった100名以上のアーティストと一緒に、「水辺を楽しむ100の方法」と題した市民参加型アートプログラムが日替わりで開催されます。また、夜には灯りプログラムが展開され、中之島公園全体が幻想的な空気に包まれます。

アートを通して水辺と人をつなぎ、人と人をつなぎ、そして、人と歴史をつなぐ52日間。さまざまな“つながり”の仕掛けが散りばめられた水都大阪2009は、ひとりひとりのワクワクする体験をきっかけとして、水都大阪の元気な再生を未来につなげます。



### 「水辺の文化座」プログラムの一例

つくる

#### KOSUGE1-16

履き古したスポーツシューズからサンダルや小物を作ったり、彼らの作品である巨大サッカーゲームを観戦するスタジアムそのものを作ったり、水辺の新しい遊びを参加者同士で作るなど、多彩なワークショップを展開します。

◆KOSUGE1-16／東京都葛飾区小菅を制作拠点とした車田智志乃と土谷淳のアーティストユニット。身近な場所で毎日を豊かにする作品づくりが身上。



#### 藤 浩志

ペットボトルなどを使って「飾り」や「灯り」を制作。完成品は展示し、会場の風景を彩ります。いらなくなったおもちゃを交換する「かえっこバザール」会場も常設。週末にバザールを開催します。

◆藤 浩志／1960年鹿児島生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了後、パブアニューギニア国立芸術大学講師などを経て美術家として活動。



あそぶ・観る

#### ヤノベケンジ

自ら改造したアート船「ラッキー・ドラゴン」号で、水の回廊各所に点在させた自身の作品を巡るアートツアーを実施。観客は、彼が生み出したキャラクター“なにわのトラやん”に導かれて壮大な水都物語を体験します。

◆ヤノベケンジ／1965年大阪生まれ。京都造形芸術大学教授、大型機械彫刻作家。腹話術人形「なにわのトラやん」をキャラクターに、火を吹く巨大なアート作品「ジャイアント・トラやん」などを制作。

